

『犯罪も事故も「ゼロ杉並」』へ向け、パレード

1月9日、杉並区役所とJR阿佐ヶ谷駅のおよそ600mを、杉並区長や杉並警察署長、俳優の小泉孝太郎さん、松下由樹さんを先頭に、パレードが行われました。このパレードは、杉並区を犯罪も事故もない、安全で暮らしやすいまちを築くことを目的とした『犯罪も事故も「ゼロ」』イベントの一環で行われたもので、杉並を舞台にしたテレビドラマ「警視庁ゼロ係」（テレビ東京）の出演者の小泉孝太郎さんなども参加しました。

杉並区は、都心のアクセスもよく、みどり豊かな住宅都市として知られています。もちろん、治安もよく暮らしやすいところがセールスポイントです。しかし、そんな杉並区でも、刑法犯認知件数は平成27年1月から11月では、4,433件（前年同時期比・386件の減）が発生しています。交通事故も1,324件（前年同時期比・22件の減）が起きています。それだけ、区民が被害を受け、家族の大事な生命や財産を失い悲しい思いをしている方々が生み出され続けています。

こうした状況を脱するため、杉並区と杉並警察署が中心になって企画したのが、今回の『犯罪も事故も「ゼロ」』イベントの開催です。そのアイデアのもとになったのが、1月からスタートするテレビドラマ「警視庁ゼロ係」です。このテレビドラマは、杉並区を舞台に撮影されていて、製作するテレビ東京に協力を依頼したところ快諾を得ました。

開始式に集まった地域の防犯自主団体のメンバーなど500名ほどを前に、田中良区長が「犯罪も事故も、そして待機児童もゼロの住みやすい杉並区を目指していきます」とあいさつすると、会場からは大きな拍手が起きていました。



午前10時40分、杉並区役所玄関前での出発式を終え、いよいよパレードが始まりました。パレードには、田中良区長のほかテレビドラマ出演者の小泉孝太郎さん、松下由樹さん、原田夏希さん、手塚とおるさん、石丸謙二郎さん、岸明日香さんなどが、沿道の人々に笑顔で手を振りました。また、都立杉並高校吹奏楽部のすばらしい演奏もパレードに花を添えました。

【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当 03-3312-2111